

令和4年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

- 1 施設名 (所管課)
高志の国文学館 文化振興課
- 2 施設所在地
富山市舟橋南町2番22号
- 3 施設設置年度
平成24年度
- 4 設置目的
富山県の自然及び風土の中ではぐくまれた文学作品その他の文学関係資料を紹介し、文学に関する県民の知識を深め、教養の向上を図るとともに、県民自らが親しみ、学び、創造し、交流することができるよう、県民に文学を中心とする文化活動の場を提供し、もって教育、学術及び文化の振興並びに心豊かな地域社会の形成に寄与することを目的とする。
- 5 施設概要
【建物構造】
地上2階 RC構造、一部SRC、S構造
・建築面積 2,738㎡
・延床面積 3,070㎡
・敷地面積 13,729㎡
【主な施設】
・常設展示434.33㎡ ・企画展示237.08㎡
・ライブラリーコーナー165.05㎡ ・親子スペース51.95㎡
・普通収蔵庫 ・特別収蔵庫 ・研修室(5室)、和室(1室)[貸室]
【開館】
平成24年7月6日
- 6 指定管理者
公益財団法人富山県文化振興財団
- 7 指定期間
5年
令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人)

H30	R1	R2	R3	R4
104,208	116,548	62,154	58,868	70,089

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

H30	R1	R2	R3	R4
14,156	15,454	6,272	6,466	8,162

【参考】利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H30	R1	R2	R3	R4
-	-	-	-	-

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

令和4年度は新型コロナ感染拡大を理由とする臨時休館もなく、通常通り開館することができたことから、感染が拡大した令和2～3年度から比べ、来館者は増加した。利用料金収入も同様に研修室、駐車場の利用も徐々に増加している。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・周辺道路や駐車場の混雑渋滞を緩和するため、平成26年度から年間を通じ、富山県育文化会館と連携して誘導整理員を配置している。また、冬期に共同で機械除雪業者を手配し、一帯の駐車場確保に努めている。
- ・平成24年度から高齢者や体が不自由な方への介助技術やホスピタリティを学んだサービスケアアテンダント資格者を配置し、接客に当たっている。
- ・平成24年度からミュージアムショップで、イベント事業や文学講座に関連した商品をリサーチし、品揃えの充実を図っている。
- ・ライブラリーに富山県の観光情報誌やイベント案内、新聞・各種雑誌を配置するとともに、平成25年度から煎れ立てのコーヒーを販売し、庭園を眺めながらくつろげる空間を提供している。
- ・平成29年度からの観覧料等のクレジットカード・電子マネー決済対応に加え、令和2年度からPayPayやLINEPayなどの二次元コード決済に対応している。
- ・高志の国文学館友の会や県が主催するイベントの開催において、イベント会場設営や運営に協力し、来場された方々の満足度向上に努めている。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・アンケートや研修室利用者からの直接の聞き取りにより、利用者の意見をこまめに把握し、施設運営に反映している。
- ・平成26年度から研修室の利用抽選会を実施し、文化団体が計画的に定期利用できるよう配慮している。
- ・令和2年度からGoToトラベル事業や全国旅行支援事業に事業者として参加、クーポンでの観覧料、ミュージアムショップのグッズ代金支払に対応し、集客を図っている。
- ・平成27年度から月1回実施している「絵本読み聞かせ会」は、安心して参加できるよう新型コロナウイルス感染症対策（事前申込制、定員25名）を強化して開催した。
- ・平成24年度から実施している子ども向け人形劇は、令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

①アンケート結果

実施方法	実施期間：通年、実施方法：展示部門＝アンケート用紙を配布 研修室（貸出）部門＝アンケート用紙を配布
回答者数	回答者数：展示部門 466名 研修室（貸出）部門617名
結果	施設の環境/ 良い以上 【展示部門】93%【研修室部門】90%
結果を踏まえた改善事項	旧知事公舎側の西側入口階段の足元が暗いとの意見あり、ガーデンライトを設置した。

②その他利用者の声を反映させる取組み

- ・アンケートの結果や利用者から直接要望を受ける監視員や受付スタッフからの報告内容を取りまとめ、全職員で情報を共有している。利用者からの意見又は提案について、改善又は反映方針を協議し、適切に対応している。
- ・上記で改善が図られた内容を盛り込みながら、監視員用接遇マニュアルを適宜更新し、スタッフのレベル向上に努めている。

③主な苦情と対応

駐車場近辺の市道用水路に雑草が生えていると連絡を受けたため、周辺の環境美化に取り組んだ。

(5)個人情報保護の取組み

研修室の利用申請や団体見学予約の手続き、イベント参加に係る個人情報の取り扱いについて、財団個人情報保護規程に基づき、適切に管理している。

(6)関係団体との連携

・県内美術館・博物館及び公立文化施設と連携して、広報（情報発信、郵送）やロビーコンサートを開催するなど、ネットワークを活用した運営を図り利用促進・活性化に努めている。

(7)施設・設備の維持管理

専門業者による保守点検のほか、職員による自主点検を実施するなど適切に管理されている。

(8)危機管理・安全管理などの取組み

・職員のほか、委託業務従事者（清掃、警備）を含め、自衛消防隊を編成し、年1回の総合防災訓練を実施している。
・新型コロナウイルス感染症対策として、スタッフに対応マニュアルを配布、館内のアルコール除菌清掃、来館者へ感染予防対策（手指消毒・咳エチケット・検温・3密回避）を周知、タッチパネル機器の一部休止、受付カウンターに飛沫感染防止の亚克力パネル設置等を行った。スタッフの健康体調管理に努め、事業所内で感染拡大防止対策を行った。
・非常災害時のマニュアルや緊急連絡表の配備や、富山市消防署査察課による立入検査に対応し、消防設備の（法令）点検を行っている。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	12
有	3
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

・新型コロナウイルスの国内外の状況に注視しながら必要な対策を行い、高志の国文学館が安心して訪れることができる施設であることをPRし、利用者増に繋げてほしい。
・開館から11年が経過し、施設の老朽化が目立ち始めている。施設の長寿命化を見据え、必要に応じてオーバーホールや改修計画を立てるなど、県と連携して対処していただきたい。
・利用促進では、自主企画事業の絵本読み聞かせ会や令和2年度からスタートした文芸同人誌紹介イベント、県民会館や教育文化会館との新しい連携事業等の実施及びそれらのPRを強化して、幅広い世代に高志の国文学館へ足を運んでもらえる賑わいづくりに取り組んでもらいたい。